

認知症高齢者を地域で見守るために

「映画上映」

長編動画 **毎日が**
アルツハイマー



©2012 NY GALS FILMS

入場
無料

定員300人

平成29年

1月14日(土) 受付 13:30~
開演 14:00~16:00

場所

朝倉市総合市民センター
ピーポート甘木 中ホール

(朝倉市甘木198番地1)

対象者

介護されているご家族や医療・介護職等、
認知症に興味のある方

申込方法

電話またはチラシ裏面FAXにて申し込みをお願いします。

内容

● **映画上映**
「毎日がアルツハイマー (90分)」

● **ミニ講話** 福岡県認知症医療センター 朝倉記念病院
センター長 末次基洋

当日映画字幕
手話通訳あり

会場の駐車場に限りがありますので、
お近くの方同士のお車の乗り合わせや
公共交通機関のご利用等、
ご協力をお願い申し上げます。

主催：福岡県認知症医療センター
朝倉記念病院
共催：福岡県医師会
後援：福岡県・朝倉市・筑前町・
東峰村・朝倉医師会

お問い合わせ先

福岡県認知症医療センター 朝倉記念病院
福岡県朝倉郡筑前町大久保500番地

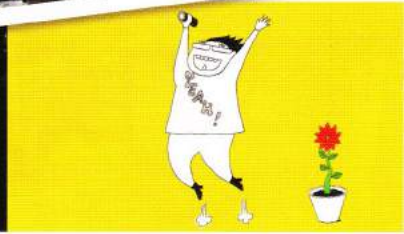
☎(0946)22-1014 (専用電話)

FAX:(0946) 24-6446

e-mail: monowasure@uraume.jp

URL :http://uraume.jp

長編動画 『毎日』 アルツハイマー



©2012 NY GALS FILMS

『毎日アルツハイマー』の構成は、2009年からのエピソード時系列を基軸に、2011年3月11日の東日本大震災を折り返し点に、母の『喜怒哀楽』を通して、母のアルツハイマーの世界を描くものである。

プロローグ

2009年9月22日、母は、79歳になった。母は、大好きなモンブランのケーキにたてられたローソク3本の火を一気に消し、ご機嫌だ。しかし、数日後、誕生日を祝ってもらったことをすっかり忘れ、ボケた～ ボケた～ ボケた～と自ら明るく歌う母。

喜

遂に、色々なことから解放された母、中でもく世間体>から解放されたことが、一番の喜びなのではないかと思う。母は、本能のママ、自分の好きなように1日過ごす。今は、昼夜逆転、まるで反抗期のティーンエイジャーのような生活パターンだ。そのことを指摘すると、母は、何も言わず、ニヤリとするのである！

怒

母は、憤怒のかたまり、と言ってもいい。ゴミ出しをきちんとしない人から、政治家に至るまで、母は、憤る。認知症になっても、母は、正義感が、強く、しよつちゆう憤る。実際のところ、この母の憤怒の根源を探る事が、母の人となりを理解することになるのではないかと。

哀

母の哀しみは、母の『閉じこもり』という形に出ている。何でも出来て能力の高かった母が、ここ1～2年で色々なことが出来なくなりました。お金を下ろせなくなり、買い物が出来なくなりました。多分、このことを一番辛く思っているのは、母本人だろう。2010年8月、高3の姪っ子最後の吹奏楽部定期演奏会のために外出したのが、最後になった。「だらしのないに、頭が狂っている。」という母のノートを見つけたのもこの頃だった…その後、母は、要介護3という認定を受けた。

楽 母は、文句なく、孫たちと過ごしている時間が、一番楽しそうだ。私の息子と妹の末っ子は、同い年の12歳で小6だ。母は、この2人には、とても反応が、いい。母にとって、孫2人は、守るべき存在だからか。と、殊勝に考えている目の前で、母は、12歳の姪っ子と頭の叩き合いをして「あ～人を殴るって、気持ちいいなあ。」と叫ぶのだ！

折り返し点で、東日本大地震発生！

2011年3月11日、東日本大地震発生。私は、すうっとカメラを回し続ける。母は、とっさに地震の深刻さを理解できず、避難勧告を無視し、1人、トコトコと家に戻って行く…この巨大地震は、現在進行形で、母の混乱を一層深め、不安を徐々に助長していく。

エピローグ

母と暮らし始めて2回目の春が、巡り、夏が、通り過ぎ、秋になり、冬を迎えた。桜は、未曾有の国難の中、いつものように咲き乱れ、夏のミンミン蝉が、鳴き止むと、つるべ落としのように日が暮れ始めるようになった。迎えた今年の冬は、寒さが厳しく、母は、益々引きこもっている。母は、このまま家から出ないのだろうか…いや、諦めないぞ！そんな母を何とか外に連れ出そうと私は、アレコレと画策する。そう、『毎日アルツハイマー』は、現在進行形長編動画なのである！

『毎アル』公式ホームページ <http://www.maieru.com>



会場

朝倉市総合市民センター
ピーポート甘木 中ホール

朝倉市甘木198番地1

- アクセス
- 自動車 ● 大分自動車道甘木インターチェンジより車で5分
 - 電車 ● 甘木鉄道甘木駅より車で5分、徒歩12分
 - 西鉄甘木線甘木駅より車で5分、徒歩10分
 - バス ● 甘木中央バス停より徒歩25分

参加申込書 (送付文は不要です)

送信先 福岡県認知症医療センター
朝倉記念病院

FAX 0946-24-6446

記入できる範囲で、ご記入お願いいたします。

代表者氏名	所属団体
ご住所 〒 -	職種
電話番号	参加人数 人

当日の参加も可能です

長編動画 **毎日が** アルツハイマー



©2012 NY GALS FILMS

「毎日がアルツハイマー」の構成は、2009年からのエピソード時系列を基軸に、2011年3月11日の東日本大震災を折り返し点に、母の<喜怒哀楽>を通して、母のアルツハイマーの世界を描くものである。

プロローグ

2009年9月22日、母は、79歳になった。母は、大好きなモンブランのケーキにたてられたローソク3本の火を一気に消し、ご機嫌だ。しかし、数日後、誕生日を祝ってもらったことをすっかり忘れ、ボケた～ ボケた～ ボケた～と自ら明るく歌う母。

喜

遂に、色々なことから解放された母。その中でもく世間体>から解放されたことが、一番の喜びなのではないかと思う。母は、本能のママ、自分の好きなように1日を過ごす。今は、昼夜逆転、まるで反抗期のティーンエイジャーのような生活パターンだ。そのことを指摘すると、母は、何も言わず、ニヤリとするのである!

怒

母は、憤怒のかたまり、と言ってもいい。ゴミ出しをきちんとしない人から、政治家に至るまで、母は、憤る。認知症になっても、母は、正義感が、強く、しよつちゆう憤る。実際のところ、この母の憤怒の根源を探る事が、母の人となりを理解することになるのではないかと。

哀

母の哀しみは、母の<閉じこもり>という形に出ている。何でも出来て能力の高かった母が、ここ1～2年で色々なことが出来なくなりました。お金を下ろせなくなり、買い物が出来なくなりました。多分、このことを一番辛く思っているのは、母本人だろう。2010年8月、高3の姪っ子最後の吹奏楽部定期演奏会のために外出したのが、最後になった。「だらしのないに、頭が狂っている。」という母のノートを見つけたのもこの頃だった…その後、母は、要介護3という認定を受けた。

楽

母は、文句なく、孫たちと過ごしている時間が、一番楽しそうだ。私の息子と妹の末っ子は、同い年の12歳で小6だ。母は、この2人には、とても反応が、いい。母にとって、孫2人は、守るべき存在だからかと、殊勝に考えている目の前で、母は、12歳の姪っ子と頭の叩き合いをして「あ～人を殴るって、気持ちいいなあ。」と叫ぶのだ!

折り返し点で、東日本大地震発生!

2011年3月11日、東日本大地震発生。私は、すうっとカメラを回し続ける。母は、とっさに地震の深刻さを理解できず、避難勧告を無視し、1人、トコトコと家に戻って行く…この巨大地震は、現在進行形で、母の混乱を一層深め、不安を徐々に助長していく。

エピローグ

母と暮らし始めて2回目の春が、巡り、夏が、通り過ぎ、秋になり、冬を迎えた。桜は、未曾有の国難の中、いつものように咲き乱れ、夏のミンミン蝉が、鳴き止むと、つるべ落としのように日が暮れ始めるようになった。迎えた今年の冬は、寒さが厳しく、母は、益々引きこもっている。母は、このまま家から出ないのだろうか…いや、諦めないぞ!そんな母を何とか外に連れ出そうと私は、アレコレと画策する。そう、「毎日がアルツハイマー」は、現在進行形長編動画なのである!

「毎アル」公式ホームページ <http://www.maieru.com>



会場

朝倉市総合市民センター
ピーポート甘木 中ホール

朝倉市甘木198番地1

アクセス

- 自動車 ● 大分自動車道甘木インターチェンジより車で5分
- 電車 ● 甘木鉄道甘木駅より車で5分、徒歩12分
- 西鉄甘木線甘木駅より車で5分、徒歩10分
- バス ● 甘木中央バス停より徒歩25分

参加申込書 (送付文は不要です)

送信先

福岡県認知症医療センター
朝倉記念病院

FAX 0946-24-6446

記入できる範囲で、ご記入お願いいたします。

代表者氏名	所属団体
ご住所 〒 -	職種
電話番号	参加人数 人

当日の参加も可能です